

長者町 アートアニュアル 実行委員会

団体名・概要

長者町アートアニュアルは、長者町界隈がまちなか会場となった「あいちトリエンナーレ 2010」会期終了後も、アートまちづくりを継続していくために、まちの有志で結成された任意団体です（2010年11月発足）。

発足以後、まちの夏祭り「長者町大縁会」を新たに生み、秋には地元のお祭り「ゑびす祭り」にて山車（作品）を毎年運行しています。一方、年間を通じ、アーティストの制作空間「長者町スタジオ」や滞在空間「長者町アーティストインレジデンス」の運営を始めるなど、イベントからプラットフォームづくりに至るまで各団体と協働しながら、多様な役割を担おうとしています。

1 まちかどアート

あいちトリエンナーレ 2013 の作品として作詞・作曲された「長者町音頭」を、まちの面々で振り付け。長者町の夏祭り「真夏の長者町大縁会」にて、初お披露目し、秋祭りでも踊りました。

アーティスト：菅沼朋香



2 積み重ねの山車

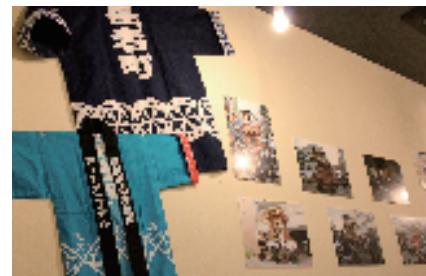
戦前、長者町に山車が存在していたことを知ったアーティスト（kosuge1-16）が「あいちトリエンナーレ 2010」とプレイベント「長者町プロジェクト 2009」にて、まちと協同して制作した山車を、2011年、2012年に引き続き、2013年も秋の長者町のお祭り「ゑびす祭り」にて練り歩きました。2013年は、2回目のあいちトリエンナーレを迎えるにあたり、山車もバージョンアップ。また、お祭り会場の丸の内側への延伸に伴い、桜通を山車が渡りきました。



3 活動の情報発信

「長者町アートアニュアル 2013 展」

まちなかの展示スペースとして感度の高い若者が集まるカフェで展覧会を開催し、3年間の活動の軌跡を展示了しました。



4 今後の活動

今年度は、これまで行ってきた活動を引き続き行いながら、二回目のトリエンナーレをきっかけに生まれている各種団体や長者町やアートファンの交流の受け皿を設けるなど、各団体とのプラットフォームとして活動していくとともに、新たに残された作品の維持管理をまちの団体として行っています。

